

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2005-522726(P2005-522726A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-584155(P2003-584155)

【国際特許分類】

**G 02 B 5/30 (2006.01)**

**B 29 C 55/02 (2006.01)**

**C 08 J 7/12 (2006.01)**

**B 29 L 11/00 (2006.01)**

**C 08 L 29/00 (2006.01)**

【F I】

G 02 B 5/30

B 29 C 55/02

C 08 J 7/12 C E X Z

B 29 L 11:00

C 08 L 29:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月8日(2006.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原長を有し、ヒドロキシル化された直鎖状高分子量ポリマーを含むポリマーシートから偏光子を作製するための方法であつて：

前記ポリマーシートを、原長の5.0倍を超えて約7.0倍までの延伸長に延伸させる工程；

前記ポリマーシートに適切な脱水触媒を導入する工程；および

前記ポリマーシートと前記触媒とを加熱して、前記ポリマーシートの部分脱水をさせ、吸光性のビニレンブロックのセグメントを形成させる工程；  
を含む方法。

【請求項2】

前記導入工程が、

酸供与層を前記ポリマーシートに近接させて設ける工程；および

前記酸供与層を放射エネルギーに暴露して、1種または複数の酸分子を放出させる工程；

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ポリマーシートを高温下でのホウ素化処理にかけることをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記延伸および加熱されたポリマーシートを0%から約70%までの延伸長に一方向伸長させることをさらに含む、請求項3に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記ホウ素化処理温度が少なくとも約80°である、請求項3に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記ホウ素化処理が、前記ポリマーシートを、ホウ酸を含む水溶液と接触状態に置くことを含む、請求項3に記載の方法。

**【請求項 7】**

少なくとも1種の二色性染料を前記ポリマーシートに添加することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 8】**

原長を有し、ヒドロキシル化された直鎖状高分子量ポリマーを含むポリマーシートから偏光子を作製するための方法であって：

前記ポリマーシートを、原長の約3.5倍から約7.0倍までの延伸長に延伸させる工程；

前記ポリマーシートに適切な脱水触媒を導入する工程；

前記ポリマーシートと前記触媒とを加熱して、前記ポリマーシートの部分脱水をさせ、吸光性のビニレンブロックのセグメントを形成させる工程；

前記ポリマーシートを少なくとも約80°の温度でホウ素化処理にかける工程；および

前記ポリマーシートを0%から約70%までの延伸長に一方向伸長させる工程；を含む方法。